令和８年３月22日執行

和水町議会議員一般選挙公報

和水町選挙管理委員会

木原やすよ

未来へつなぐ、健幸な和水

女性ゼロ議会に飛び込み、いのちと暮らしを守る政策を問い続けて来ました。

これからの約束

① 安心して子どもを産み育てられる、子育て・教育の充実
（子どもの居場所づくりの充実）

② いのちと健康をつくり、守る、予防重視のまちづくり
（胎児期からの切れ目ない健康支援）

③ 高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる施策の充実
（介護予防などの充実）

④ 災害に備え、いのちを守る防災・減災の強化

⑤ 移住・定住を進め、活力ある和水町へ

誰もが健やかで、幸せに暮らせる町を目指して

未来へ責任を持つ町政を、誠実に取り組んでまいります。

北川まさかず

暮らしに寄り添い 未来をつくる！

教育 ～子どもたちの未来のために～
- 給付型奨学金の充実、無利子返済型奨学金の新設
- 図書館ベースの交流施設を整備
- 学校給食における地産地消の推進

福祉・環境 ～地域コミュニティが元気な町へ～
- 高齢者、障がい者、子育て世代の支援体制強化
- 防災対策と見守り体制の強化
- 空き家パンク、定住促進の広報活動
- 乗り合いタクシーの利便性向上

まちづくり ～今ある町の良さを未来へ～
- 和水町の歴史、自然、食の魅力発信
- 肥後民家村を中心に町の観光資源を活用した誘致活動
- 菊水ロマン館、三加和緑彩館、三加和温泉の魅力創設

プロフィール

1966年　和水町内田に生まれる（用木、大江田在住）
1982年　菊水中学校卒業
1985年　鹿本高等学校卒業
1989年　熊本学園大学（旧熊本商科大学）卒業
1989年　九州産交観光株式会社 入社
2026年　1月　同社退職（36年10ヵ月勤務）
2026年　2月　株式会社北川工業（土木・解体業）入社
現在に至る

経　歴

2016年　菊水中学校 PTA会長
2019年　金栗四三ミュージアム 館長

ちぢいわ　繁（しげる）

【略歴】一九六〇年生まれ　六十五歳
南関高校卒業・日本体育大学卒業
三十八年間　県立学校教員定年退職
熊本陸上競技協会理事・総務部長
東京二〇二〇オリンピック
マラソン・競歩スターター

みなさんの声をカタチに！

対話を大切に、行動する議員として
和水町の未来つくりに取り組みます。

【子どもたちに夢と希望を】

教育・文化・スポーツを大切にし、
地域で子どもたちを育てる和水町をめざします。

【子育てと福祉にやさしい町へ】

子育て世代の負担を減らし、安心して相談できる町へ。高齢者・障がいのある方を支え、誰も取り残さない地域づくりを進めます。

【安心して暮らせる町へ】

防災・防犯を強化し、安心して暮らせる町へ。
人と動物（猫・犬など）が、共に生きる和水町をめざします。

ちぢいわ　繁

坂本まさたか

介護福祉士
ケアマネジャー

（５３歳）

私は十九年間、グループホームで介護福祉士とケアマネジャーとして認知症介護に従事してきました。終わりが見えない介護、日に日に高まる不安に余裕がなくなっていくことで身体的、精神的負担が大きくなっていく在宅で介護をされている方々と多くの関わりをしてきました。そのように在宅で介護をされている方々の負担軽減と安心して暮らせる町づくりの実現を柱に次のことを取り組みます。

①在宅要介護認定者等介護手当の拡充
現在、支給対象は要介護４から毎月５千円の認定を受けた方を在宅で介護されている方となっていますが、要介護１から要介護３の介護者への支給対象の拡充を目指します。

②介護施設従事者の処遇改善
介護の最前線で従事し、悩み、苦悩されている従事者が自分の仕事に誇りが持てる職場環境を目指します。

③認知症カフェ（オレンジカフェ）の充実
介護者同志が介護の相談、成功体験の共有、日頃の介護の息抜きをし、ほっとできる機会となる認知症力フェの充実を目指します。

④安心して暮らせる町づくり
町内には毎朝、交差する路線があり、小中学生の登校時間と重なる事故の発生リスクが高まります。町の至である子ども達の安全の為、早期解消を目指します。

白木　まこと

町の未来に向けた五つの責任

【人が育ち、若者が帰ってくる町へ】
人を育て、挑戦できる環境づくりを後押しします。
若者が「帰りたい」と思える町へ、提案を重ねます。

【子育てが、不安より楽しみになる町へ】
必要な支援が本当に届く仕組みを求めます。
子育て世代の声を、町政に反映させます。

【支えるだけでなく、活躍できる町へ】
支援にとどまらず、社会参加の機会拡充を提案します。
高齢者が生きがいを持てる環境整備を後押しします。

【将来にツケを残さない町づくりへ】
財政の透明性を高め、持続可能な運営を追求します。
将来世代に負担を残さない町政を、議会からチェックします。

【知られていない町から、選ばれる町へ】
地域の魅力発信を強化する施策を提案します。
関係人口を増やす仕組みづくりを後押しします。

かめざき　清貴（きよたか）　43歳

次世代への希望をつなぐ!!

希望をつなぐプロジェクト５

1 子育て世代の希望を叶え、人口減少をおさえる
- ○官民連携による宅地造成等の整備
- ○不妊治療・早産予防の補助拡充
- ○子ども連の通学等支援の充実
- ○中学生制服の見直しの検討

2 低炭素社会実現と災害に備えた環境の整備
- ○家庭用蓄電池装置設置への支援
- ○消防団の組織改革と待遇改善及び地域防災の拡充
- ○竹林整備事業者への補助拡充
- ○プラスチック類の分別と行政区への資源回収ボックスの設置
- ○東直玉名八反緑矢部谷トンネル工事早期実現
- ○池山計画の推進と強化
- ○防犯カメラ・街路灯の設置拡充

3 人生100年社会に向けた生涯いきいき活動の充実
- ○ケアラー支援の整備やシニア人材の活用
- ○健康教室の充実と交流の場の創出
- ○高齢者等相談支援の強化
- ○タクシー利用助成事業の規制緩和による買い物、通院支援

4 稼ぐ農業を目指す
- ○官民連携による農業従事者の補助金活用への支援
- ○新規就農者や規模拡大を計画する事業者と離農者とのマッチングサポート事業
- ○ふるさと納税返礼品の拡充や農家の所得向上
- ○行政サービスのデジタル化の推進
- ○ドローン等を活用したスマート農業化への支援拡充

5 里山を活かした観光振興と史跡等観光資源の充実と強化
- ○江田船山古墳公園内に博物館等の整備の検討
- ○史跡を活用したゲーム化の推進
- ○空き家、空き店舗を活用した新規事業者支援と空き家等への移住者支援の拡充
- ○三加和温泉郷周辺への賑わい創出事業

信念　情熱　行動力

髙木洋一郎（たかき）

和水町 議会議長
中央大学 法学部卒業

次世代に、自信と誇りを持って引き継ぐために 取り組みたいこと

（一）地域産業の振興
（一）道路改良と河川改修
（一）防犯カメラ・防犯灯の設置
（一）あいのりタクシー等の充実
（一）自主防災組織の強化
（一）高等学校進学塾の設置
（一）行政区連携による地域づくり

あきまる　要（よういち）　一

実現したい政策

① 財政力の強化
- ふるさと応援寄付金の倍増（自主財源の確保）
- 適正な公共施設等の配置の見直しと経費の削減

② 雇用と定住促進の強化
- 住居の斡旋（空き家活用・空き家バンク）
- 住宅地の提供と補助制度（民間活用）
- 起業、事業継承、拡大支援（民間活用）
- 企業誘致による働く場の提供（土地の確保）

③ 医療と福祉の強化
- 高齢者の交通移動手段の構築と利便性の向上（コミュニティバス／あいのりくん）
- 経済的困窮者への人的支援（ヤングケアラー・ひとり親世帯）

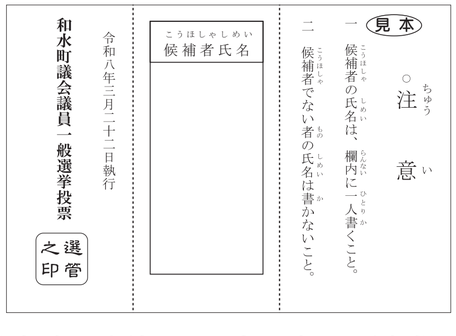
④ 農業・商工業等の地域産業基盤の育成・強化
- 農業の自立支援（所得の増加支援）
- 商工業基盤の充実強化（事業者の呼びこみ）

⑤ 教育体制と子育て支援の強化
- 子育てしやすい生活環境の充実強化
- ICT活用に向けた環境整備（デジタル化）
- 特別支援学級児童の療育支援強化（障害のある児童を持つ親への各種支援）
- 民間ボランティア団体への活動支援・育成・人づくり（環境美化・各種スポーツ、茅葺、子育て支援等）

⑥ 防災力と居場所づくりを強化
- 避難所を兼ねた町民が集える居場所づくり

（この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです）

「選挙のめいすいくん」
- 明るい選挙推進運動のイメージキャラクターです。
- 体は、投票箱がモチーフです。



この選挙公報をよく読んで、大切な一票を投じましょう。

投票は町政参加の第一歩

町議会議員の投票用紙には
候補者ひとりの氏名を
はっきり書きましょう。

投票日　3月22日(日)　午前7時～午後7時